

第1回 タウンミーティング開催報告

項目	内容
日時	令和6年7月4日 午後7時～8時
場所	市役所本庁4階 会議室4-4
対象	西殿樋門流域水路改善協議会
参加者数	9人
概要	① 開会 ② 市長あいさつ ③ 自己紹介 ④ 意見交換 ⑤ 閉会
主な意見等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 上粕小学校の西側一帯から山城中学校南側一帯において、優良な土地区画整理事業を実施してほしい。木津川市の人口を見ると木津エリアは増加している一方で、上粕小学校のエリアは減少している。上粕小学校の児童も減っており、子供振興が行えない。商店街においては、店舗が数えるほどしかなく、飲食店は1件のみである。都市計画の将来展望を考えた時に土地区画整理事業を実施することが、人口増や新店舗増につながる。・市長 人口は木津エリアも減ってくる局面となっている。開発できるエリアも減少している上、市も開発できるような予算もない。店があったほうが良いのは当然であるが、施策を人口減少に合わせた方向にシフトしていく必要があると思っている。そういう風になれば良いが、一つのご意見として参考にさせてもらう。

	<ul style="list-style-type: none"> • 参加者 • 市長 • 参加者 • 市長 • 参加者 • 市長 	<p>農業の人口が減ってきており、担い手がない。農業者は退職金がなく、退職後の補償がない。30年農業をすれば退職金ができる制度があれば、農業をやる人が増えるのでは。</p> <p>利益が出ないと若い方も農業に取り組まないと思う。食料農業農村基本法の改正などがあり、大きな流れとしては農業に焦点があたっている。国の施策が出るまでは、その間市がどうするか、いわゆる足しになる制度が実施できるかである。</p> <p>木津から城陽まで道路を造る計画があるが、新しい道路を通じて、荒れた森林に対して何かできることはないか。</p> <p>5年では道路はできない。新名神も遅れているので10年程度はかかる。アクセス道路である東西の道は、防災の観点もあり、あとはどれだけ国がお金をつけてくれるかである。道路ができれば、道路を活用した計画は色々と考えられる。</p> <p>昔は、京都府の農業改良普及センターの方が、毎日のように畑にきて、指導をしてくれたが、今は担当さえわからない。勉強会もしてくれて、一昨年には市役所でも開催された。昔から農業している人でも農業を続けていくことは厳しいのに、新規就農者はなお厳しい。そういう人達に対して研修や指導など、ソフト対策をもっと実施できるとよい。</p> <p>間接的な支援もやり方により効果がある。当面の間は、できる施策を実施していきたい。</p>
--	---	---